

特集

食を通じた認知症ケア

認知症対応型共同生活介護施設
グループホーム広瀬ガーデン

Pickup

連載② 相談ひろば Q&A

「地域包括支援センター」とよく耳にしますが、
何をしてくれるところですか？

連載③ 管理栄養士が教える 食べて元気になるメニュー

第3回「夏の塩分の取り過ぎに注意しよう」

特集 食を通じた認知症ケア

認知症対応型共同生活介護施設 グループホーム広瀬ガーデン

連載① 認知症く暮らし・寄り添う

第4回「笑顔のために」デイホームだからこそできること

認知症対応型通所介護施設 デイホーム柏崎

管理者・介護福祉士 北原 佳子

連載② 相談ひろばQ&A

「地域包括支援センター」とよく耳にしますが

何をしてくれるところですか？

医療法人社団 慶勝会 館山市地域包括支援センターいちご

主任介護支援専門員・社会福祉士 鈴木 知己

連載③ 管理栄養士が教える 食べて元気になるメニュー

第3回「夏の塩分の取り過ぎに注意しよう」

介護老人保健施設 なのはな館 みさき 管理栄養士 鈴木 貴子

連載④ 簡単！家リハ いつまでも自分らしい健やかな身体をキープしよう!!

vol.6「どこでもできる姿勢改善体操」

介護老人保健施設 なのはな館 みさき 理学療法士 伊東 奈美 池田 俊介

イベント・赤門 NEWS

赤門整形外科内科 ご利用のご案内 (平成28年7月時点)

赤門ヘルスケアグループ 事業所一覧

この一枚

赤門
ヘルスケアグループ



「赤門だより」は、赤門整形外科内科を中心とする赤門ヘルスケアグループ（医療法人社団 慶勝会および株式会社ケアサービス・まきの実）による共同発行の季刊広報誌です。

当グループは、明治21年（1888年）「赤門鈴木医院」の開院以来、館山・南房総を中心に皆様方のご支援を受けて、医療・介護に取り組んで参りました。また地域でも早くから認知症対策に力を注いで参りました。これからも「その人らしい暮らしを支える」の理念の下、地域の皆様に貢献するべく絶えず邁進して参ります。

【赤門の由来】

江戸時代に南部藩（現在の盛岡）の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、塀の上には高張り（庇）を許されました。この朱塗りの門すなわち「赤門」が名称の由来として今日まで継承されています。





特集

食を通した認知症ケア

認知症対応型共同生活介護施設 グループホーム広瀬ガーデン

館山市広瀬にある認知症対応型共同生活介護施設グループホーム広瀬ガーデンでは、専門職員による介護や支援の中で、利用者様が共同生活を営んでいます。認知症によって損なわれる能力を再び発揮できるよう、環境を整えるお手伝いをさせていただいています。

●施設概要

名称：認知症対応型共同生活介護施設グループホーム広瀬ガーデン

提供サービス：認知症対応型共同生活介護

事業所番号：1291000055

開設年月日：平成18年10月1日

定員：定員18名（2ユニット）

住所：〒294-0008 千葉県館山市広瀬368-1

TEL：0470-20-6221 FAX：0470-36-1022

URL：<http://www.makinomi.co.jp>



1 食の目的と役割

〈食の本来持つ意義、加齢や認知症による食の変化と対応〉

食事とは

人にとって「食事」とは、生命活動に必要な栄養を摂取するためには欠かせないものです。

栄養摂取や味を楽しむためだけでなく、「家族や親しい人と共に和やかな時間を過ごし、『協同』『充実や満足』を実感する」、「料理を作つて

くれた人（母親等）の『愛』を実感する」、といった様々な目的や役割があります。

また食習慣や嗜好等といった食生活は乳時期より個々の家庭生活の中で形成・根付いていくもので、日本人にとって、生育の節目や四季の移り変わり、地域性、文化や世界観、家族観といったものが多く反映されています。

例えば、生後100日前後で行う「お食い初め」や年中行事では、「お節料理」「土用の丑の日」等、家族で食卓を囲み、揃って食事をとるといった姿があります。

高齢者はこれまでの長い人生の中で様々な食習慣や嗜好が形成されているため、食事のもつ意義、食に対するニーズの個人差が大きくなると考えます。



季節の旬な食材で、地域性や日本の伝統的な行事食を盛り込んだメニュー作りを心掛けています。この日は、うな井と地域で馴染み深い鰯を使ったつみれ汁。



加齢による食への影響

加齢による様々な身体機能の衰え、体力、意欲の低下によって日常生活の基盤となる力が弱まり食事という場面でも変化が起こります。飲み込みづらさ、味覚障害等が顕著な場合は、食事摂取が苦痛と感ずることや面倒だと思いうことにも繋がります。

また、子供の成長や伴侶を亡くし家族で食卓を囲む機会が減る等、これまで馴染んできた環境との異なりが生じてきます。

そのような中で人は時として不安や孤独を感じることがあり、身体機能の低下と相成って食事の持つ様々な役割が薄れていきます。

認知症と食

加齢による食への影響に加え認知症を患うことで更に日常生活動作に困難が生じます。

今あった出来事を忘れてしまうといった記憶障害の他に、考えがまとまらない、言葉にして上手く伝えられない、意思疎通の困難さ等、症状は様々な所に影響を及ぼしてきます。

「ミキサー食でも美味しく」をモットーに検査簿を囲み毎日行う情報交換。体調にあわせ、提供する食事形態を柔軟に変更していく。



す。食事という場面では、食べたことと自体を忘れる、調理手順が分からない、食べ方や食べる方法を忘れてしまう、食事に集中できないといった状況が生じることも多く、空腹による落ち着きの無さや一層不安が強まるといった強い認知症状の出現が起こることもあります。

ご利用者にも馴染み深い食材である「ふき」。若い職員は筋の取り方や調理方法を教えて頂きながら一緒に下ごしらえを行う。作業をする中で、その方の人生歴に触れ、これまでの暮らしを知る。

認知症を患う方への関わり

認知症を患う方に対し、忘れてしまったことを思い出させようとしたり、できないことを無理強いしたり、叱責したり、再び教えようとしたりすることは、かえって不安や焦りを強め、自信を喪失させることに繋がります。関わる家族や支援者の対応によっては、イライラしたり、猜疑心が強くなったり、頑固になったりと人との関係にひずみが生じていくこともあります。

認知症を患う方への対応として、馴染みの関係や場所で、これまで続けられていること、自信を持って行えること、慣れ親しんだことを行いながら、過去の記憶に働きかけ自尊感情を高め、安心感を持てる様に支援をしていくことが大切と考えています。

Tips

認知症対応型共同生活介護施設とは

認知症の高齢者が共同で生活する住居において、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上のケア、機能訓練を行います。少人数（5人～9人）の家庭的な雰囲気の中で、症状の進行を遅らせて、高齢者の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるように支援します。株式会社ケアサービス・まきの実では、広瀬ガーデンを含めて6施設を運営しています。

2 「生(活)きる」を支える食

「美味しく食べて、元気でいていただくために」

食を通じた認知症ケアの取り組みを紹介します。



油の音や色の変化で引き上げるタイミングを計る。職員は「油の音が変わりましたね」と、揚げ上がりを見極めるポイントを伝え、長年の調理経験を引き出せるように関わっている。

「暮らし」の中の食

広瀬ガーデン（以下広瀬）では、健康の維持・増進だけでなく、食が生活の中での楽しみや生きがいとなるように、調理や食に伴う活動（メニュー決め、買い物、盛り付け、食器洗い等）を共に行います。台所は、皆の集うリビングにあり、調理の様子が良く見える造りとなっています。

そこからは、野菜を刻むトントンという包丁の音、揚げもののパチパチと気持ちの良い音、魚の焼ける匂い、お味噌を溶いた時に広がる味噌汁の匂いや、鍋から立ち上る湯気の様子、洗いの音…これまでの暮らしの中に当たり前にあった音や、匂い、それらを感じ続けられる環境があり、当たり前前の暮らしの継続がそこにはあります。

その人の、できること、できないこと、できそうなことを良く観察しながら、職員は環境を整えたり、失敗による気分の落ち込みがない様にサポートします。食材の皮むきやお皿拭き、盛り付け等のお手伝いをお願いしたり、時には糠みそのつけ方を教えて頂くこともあります。

昔を思い起こすような働きかけを職員が行うことで、ご利用者の失われつつある機能や役割の再認識に繋がり、脳に良い刺激となります。

その活動を通じて必要とされていると感じること、感謝されることが自己肯定感を強め自尊感情を高めることに繋がります。それにより、充実感となり、生きがいを感じることができるようになります。また、馴染みの人、場所作りによる不安感の軽減の場として重要視しています。

「楽しみ」としての食

季節の移り変わりに合わせて、その時々旬な食材を使用しリクエストを受けた物を作る等、献立は毎日決めています。広瀬の菜園では季節の野菜が実ります。その成長を楽しみ、収穫をし、収穫した食材をどのように調理するか皆で考えます。

近所の直売所への買い物は、地域の方とのコミュニケーションの場となっており、地域に密着した生活を送っています。

馴染み深い行事食や郷土食の提供



広瀬の菜園で夕食に使う紫蘇を収穫。香りや手触りは五感への刺激となり食欲や調理への参加意欲を高める。

も生活の中での楽しみの一つであり、食を通じて四季の移り変わりを感ずるきっかけとなります。これは、現在の年月や時刻、自分がどこにいるのかといった見当識が揺らぎやすい認知症の方への有効的な働きかけの一つです。食を題材としたコミュニケーションの場面では、家族との時間、自信や役割を持っていた自分を想起させ、愛され、大切にされている自分を感じ、気分が明るくなり会話も弾みます。

「分かち合う」食

職員は、ご利用者と同じ食事を同じテーブルを囲み食します。

「美味しそう」、「お腹一杯」、「味が薄い」、「もっと食べたい」、「明日は刺身が食べたいな」…。自分の気持ちを上手く言葉として伝えることが困難な認知症の方にとって、自分

の気持ちを素直に表現する機会であり気持ちを伝えやすい場面にもなっています。

更に、時間や食べる物を共有（分かち合う）することで、共同体としての意識を強め、一緒に暮らす馴染みの人としての結びつきを強めます。



歩いて3分ほどの場所にある、なのはな村（直売所）へ買い物。馴染みの店員の方や地元の買い物客との交流を行っている。

「生（活）きる」を支える食

食事ケアをする際のポイントは、一人ひとりの嗜好を知り、体調、歯の噛みあわせや虫歯等の口腔内の状態、嚥下の状態、食べる姿勢等を観察し把握することです。

食事に関係することが原因でBPSD（※注1）や食欲不振となっている場合もあります。健康チェックをすると共に、その原因がどこにあるかなど、様々な視点から探り解決に向けて関与します。習慣や好みという情報もとても大切です。また「食べる」という動作を分けると「料理を見る・匂いを嗅ぐ・料理を口へ入れる・噛む（咀嚼する）・飲み込む（嚥下する）・喉を通過し消化管へ」の機能に分類されることから、どの機能が低下してきているかを分析します。食べる姿勢、嚥下の機能評価等をセラピスト（言語聴覚士）からアドバイスをもらいながら、「おいしく、安全に食べられること」を基本としています。

調理、味だけに限らず、食事形態や食事介助技術の未熟さが食べづら

さに繋がらない様に、多くの専門職との連携を通じ多角的な視点でアドバイスをもらい、認知症や高齢による身体機能の変化への知識を広げ技術の向上を図っています。

健康や今ある体力を保持するためには、栄養や水分を取ることが大切ですが、それだけにはとどまりません。

「おいしく食べて、元気でいてほしい」という心のこもった食事は心と身体の健康を守り、生活への活力を生みます。今後も、一人ひとりのご利用者に合せた、心が満たされる「生（活）きる」を支える食の支援を行います。

※注1…BPSDとは「行動・心理症状」ともいわれ、代表的な症状として暴力や徘徊等があります。本人が元々持ち合わせている性格や置かれている環境が大きく作用し、症状もある程度分類はできますが複数の症状が重複する場合もあり多様化します。人によって症状が異なるので、全く同じ症状の方は居ないといっても過言ではありません。

【グループホーム総合相談窓口】

080-8758-9396



嚥下機能を確認しながら、食事形態や食事を摂る姿勢、嚥下機能のリハビリについてセラピストから指導を受ける。

第4回

「笑顔のために」デイホームだからこそできること



認知症対応型通所介護施設
デイホーム柏崎
管理者・介護福祉士 北原 佳子

デイホームでは、ご利用者の生活の主体が「我が家」になることから、「自宅」を意識したケアを行っています。柏崎では一般の「家」を活用し、敢えて階段や桟等不便を残すことで、自然と段差をまたぐことに注視したり動作を行うことに繋がっていきます。

また、認知症状により自身の体調不良を伝えにくい方もいるため、表情や言動、立ち振る舞いから「普段とは異なる点」を探り、ご家族や介護支援専門員と連携を取り、異変の早期発見、早期対応に繋がるように努めています。

更に、ご利用者が望んでいることを察し、気付きを持ってその想いに対しお手伝いをしたり、その方法や留意点をご家族に伝え、自宅での介護に引き継いで頂くことも行っています。

ここで挙げたケアは一例に過ぎません。但し、これらの例をケアとして提供するために、私たち職員は、今、目の前にいるご利用者の様子は勿論のこと、自宅の様子、その方のこれまでの歴史等を学ぶようにしています。

そして、そのことが「家では一日中ゴロゴロしているのよ」とご家族に言われる方が、事業所では昔懐かしい歌を皆で唄ったり、おしゃべりをしたり、アクティビティーや家事にも率先して取り組まれていることに繋がっています。また、その表情も非常に穏やかに笑顔で過ごされているため、ご家族からは驚きの言葉を頂くこともあります。

今後、ご利用者、ご家族との出会いを大切に、皆様が安心して笑顔で過ごしていただけるよう、これからも職員一同尽力して参ります。

【デイホーム 柏崎】047012515337



手や姿勢を伸ばす等のリハビリ体操を行う。

相談ひろば Q&A

「こんな時はどうしたらいいの？ 誰に相談するの？」
医療と介護に関する様々な疑問・お悩みに専門スタッフがお答えします。

私が答え
します。



医療法人社団 慶勝会
館山市地域包括支援センターいちご
主任介護支援専門員・社会福祉士
鈴木 知己

Q 「地域包括支援センター」とよく耳にしますが何をしてくれるところですか？

A 高齢者のよろず相談所のような場所です。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう健康、福祉、介護等様々なご相談に専門職（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等）が対応します。

●ご本人・ご家族の相談内容は多岐に渡る

「一人暮らしの父が高齢で体力が落ちてきた。遠方だし今後の生活が心配。」（県外に住むご子息）「夫の物忘れが気になる。認知症かも知れない。どうしたらよいのか。」（奥様）「独居で腰を痛めた方がいて、最近姿が見えず心配。」（近所の方）等、ご本人やご家族だけでなく、地域の方々から寄せられる相談もあります。

●一緒にじっくり考える

対応する際に心がけているのは、相談者のことをよく理解するために、できるだけ自宅に訪問し、じっくりとお話を伺い、相談内容を一緒に考えていくということです。そして必要に応じてご家族や、地域への協力依頼、適切な機関や制度、サービス等に結びつけていきます。地域包括支援センターは地方自治体からの委託事業であるためご相談は無料です。ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

※市内に3カ所あり、2カ所は医療法人社団 慶勝会に委託されています。担当区域が決まっていますのでお問い合わせの際はご注意ください。

【館山・西岬・神戸・富崎地区】

館山市地域包括支援センターなのはな ☎22・1350

【九重・館野・豊房地区】

館山市地域包括支援センターいちご ☎28・4115

※北条・那古・船形地区の方は、館山市地域包括支援センターたてやま（委託：社会医療法人社団 木下会）☎25・7191までご連絡下さい。

第3回「夏の塩分の取り過ぎに注意しよう」

注意 夏に多量の塩分を摂ることは、むくみや脱水症状などの原因に!!

塩分を摂り過ぎない3つのポイント

1. 切り方の工夫

みじん切りや潰して味を付けるより、角切りや乱切りで表面に味をつけた方が、口に入れた瞬間に味を感じるため、少ない塩分でも味を素早く感じる。

2. 調理の工夫

香味野菜や香草、香辛料で風味アップと減塩

- 香辛料で香りをつけて焼く。
- しその葉、海苔を巻いて揚げる。レモンを添える。
- 香味野菜や香草と一緒に包み蒸し焼きにする。

3. 食事の工夫

- すし飯、味付けご飯、丼物は回数を控える。
- 汁物は、具沢山にする。
- 醤油などの調味料は、料理に直接かけず小皿に入れる。

お悩み解消おすすめメニュー

夏野菜たっぷり酢の物

みょうがと大葉で香りをつけて、醤油や塩を控える。酢の香りと酸味は、夏バテや疲労等により、食欲減退した体に嬉しい。食欲増進、や。疲労回復、が期待できる。



食事の「コツ」を
管理栄養士がご紹介!



介護老人保健施設
なのはな館 みさき
管理栄養士 鈴木 貴子

連載
3

管理栄養士が教える

食べて元気になるメニュー

連載
4

簡単!家リハ vol.6 どこでもできる姿勢改善体操

いつまでも自分らしい健やかな身体をキープしよう!!

ポイント

お腹と背中の筋肉を鍛えて姿勢を改善

正しい姿勢は耳たぶ・肩・腰骨・膝・くるぶしが一直線になるのが正しい姿勢です。また、お腹と背中、内臓を支える筋肉の衰えにより姿勢が悪くなります。今回はその筋肉を鍛える運動をご紹介します。

専門スタッフが
手軽にできるリハビリ
メニューをご紹介します



介護老人保健施設
なのはな館 みさき



理学療法士 伊東 奈美

理学療法士 池田 俊介



腰痛・食欲低下
失禁・便秘予防に

- ①
背すじを伸ばしてかかとを上げます。お尻の中心に力を入れながら行い、息を吐きながら5～6秒間姿勢を保ちます。



【正面図】



- ②
背すじを伸ばし内ももの間にタオルを漬すように挟みます。お尻外側から中心に力を入れます。息を吐きながら5～6秒間姿勢を保ちます。

順番や回数はお好みで、ご自身の体調に合わせ無理のない範囲でお試ください。※痛みや問題が生じている場合は、専門の整形外科などにご相談を。

熊本地震チャリティー 第8回 親善バレーボール大会 赤門杯

2016年5月1日(日)、医療法人社団 慶勝会主催の親善バレーボール大会 赤門杯が館山運動公園で行われました。今回は、熊本地震チャリティー大会と銘打ち、被災地の皆様への支援活動として会場に募金箱を設置し義援金を募りました。大会参加者や来場者からの活動主旨へのご賛同とご協力により、義援金総額 55,511 円が集まり、日本赤十字社を通じ被災地に送金を行いました。

実行委員会では「皆様にご協力頂き、微力ながら、災害復興へのお手伝いできたことに喜びを感じております。今後もバレーボールを通じ、医療・福祉機関との交流を深め、より一層素晴らしい大会となるよう盛り上げていきたいです。」と話していました。



各施設の日々の様子やその他情報は、ホームページでもご紹介しています。

医療法人社団 慶勝会 [慶勝会](#) [検索](#) 株式会社ケアサービス・まきの実 [まきの実](#) [検索](#)

～南房総市加茂 日蓮寺へ紫陽花見学～
(デイホーム安布里)



房州紫陽花寺とも呼ばれる名所。「昔からここは綺麗よね～」と笑顔になり、思い出話にも花が咲きました。

～日常の様子～
(グループホーム堂の下ガーデン)



季節の花を職員と一緒に植えました。その後の水やりも毎日欠かさずに行い、大切に育ててくれています。

●詳しくはホームページの「**新着情報**」をご覧ください。

Information

NEWS 第10回 赤門ヘルスケアグループ 利用者様作品展 開催

赤門ヘルスケアグループの利用者様による作品展が、館山市南総文化ホールギャラリーで8月23日(火)～9月6日(火)まで開かれます。

グループホーム、デイサービス、デイホーム、デイケアの利用者様が、日ごろの創作活動やリハビリの一環として制作している作品の展示会です。是非ご来場ください (入場無料)。

【開催日時】：2016年8月23日(火)～9月6日(火) 9時～17時
※初日は13時から最終日は14:00まで 月曜休館日

【開催場所】：千葉県館山市北条740-1 南総文化ホール ギャラリー

【問い合わせ先】：赤門ヘルスケアグループ管理部 TEL.0470-25-7300



赤門整形外科内科 ご利用のご案内 (平成28年4月時点)

診療時間	月～金 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～18:00
	土曜日 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～17:00
リハビリテーション	月～金 8:30～19:00
	土曜日 8:30～17:00
外来受付時間	月～金 8:30～18:00
	土曜日 8:30～17:00
休診日	日・祝・祭日、年末年始 (12月30日～1月3日)



最新の外来予定は
こちらのQRコード
からご確認ください
ます。



救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・原爆医療指定・公害・特定疾患・身体障害者福祉法指定医

赤門ヘルスケアグループ 事業所一覧

●● 医療法人社団 慶勝会

赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼1619
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田110-1
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条2832
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4
TEL. 0470-24-3113 FAX. 0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼1637-1
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

館山市地域包括支援センターいちご

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-3
TEL. 0470-28-4115 FAX. 0470-28-4116

管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1、1階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

●● 株式会社ケアサービス・まきの実

グループホーム堂の下ガーデン

〒294-0056 千葉県館山市船形827-11 TEL & FAX. 0470-20-5228

グループホーム神明町ガーデン

〒294-0045 千葉県館山市北条1173-6 TEL & FAX. 0470-24-5075

グループホーム広瀬ガーデン

〒294-0008 千葉県館山市広瀬368-1 TEL. 0470-20-6221 FAX. 0470-36-1022

グループホームやつかガーデン

〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1 TEL. 0470-33-3113 FAX. 0470-33-3114

グループホーム相浜ガーデン

〒294-0235 千葉県館山市相浜75-1 TEL. 0470-20-7511 FAX. 0470-28-3588

グループホーム安布里ガーデン

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2 TEL. 0470-29-5146 FAX. 0470-29-5147

デイサービス安布里

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2 TEL. 0470-25-5766 FAX. 0470-24-3090

デイホーム柏崎

〒294-0034 千葉県館山市沼1627-2 TEL. 0470-25-5337 FAX. 0470-22-8101

デイホーム西の浜

〒294-0034 千葉県館山市沼865 TEL. 0470-23-3319 FAX. 0470-23-3392

デイホームやつか

〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1 TEL. 0470-33-3113 FAX. 0470-33-3114

デイホーム安布里

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2 TEL. 0470-29-5367 FAX. 0470-24-3090

福祉用具貸与・販売、生活支援 (サリエス)

〒294-0034 千葉県館山市沼1630-1 TEL. 0470-28-4025 FAX. 0470-29-5211

介護タクシー (介護タクシー・まきの実)

〒294-0034 千葉県館山市沼1630-1 TEL. 0470-29-5210/080-8809-8881

本部

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1-2階 TEL. 0470-30-8488 FAX. 0470-29-5206

介護タクシー・まきの実



地域の皆様の
暮らしをサポート

運転手は介護職員初任者研修修了者です。

買物 通院 旅行

株式会社 ケアサービス・まきの実 検査や透析などの定期利用にも便利

急な予約OK!! 0470-29-5210 / 080-8809-8881

【この一枚】

職員と一緒に昼食の下ごしらえを行い、カメラに向かって「上手にできたでしょ。主婦だもん」と綺麗に筋が取れた絹サヤを見せてくれた時の一枚。自信を持って取り組める作業を寄り添い見守り、小さな達成感を積み重ねて行くことで自然な笑顔が生まれます。



赤門ヘルスケアグループ 季刊広報誌「赤門だより」通巻48号
(医療法人社団 慶勝会 / 株式会社ケアサービス・まきの実 共同発行)

発行・責任：「赤門だより」編集発行室

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1、1階

TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

医療法人社団 慶勝会 <http://www.keishokai.or.jp>

株式会社ケアサービス・まきの実 <http://www.makinomi.co.jp>

発行日：平成28年7月15日(年4回発行)

編集・印刷・写真：管理部 総合企画